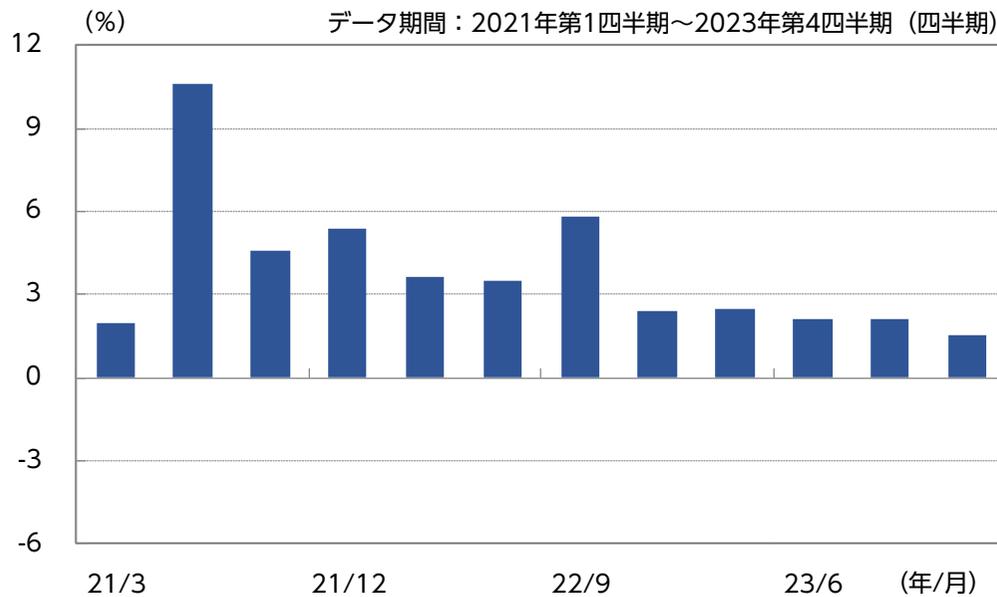
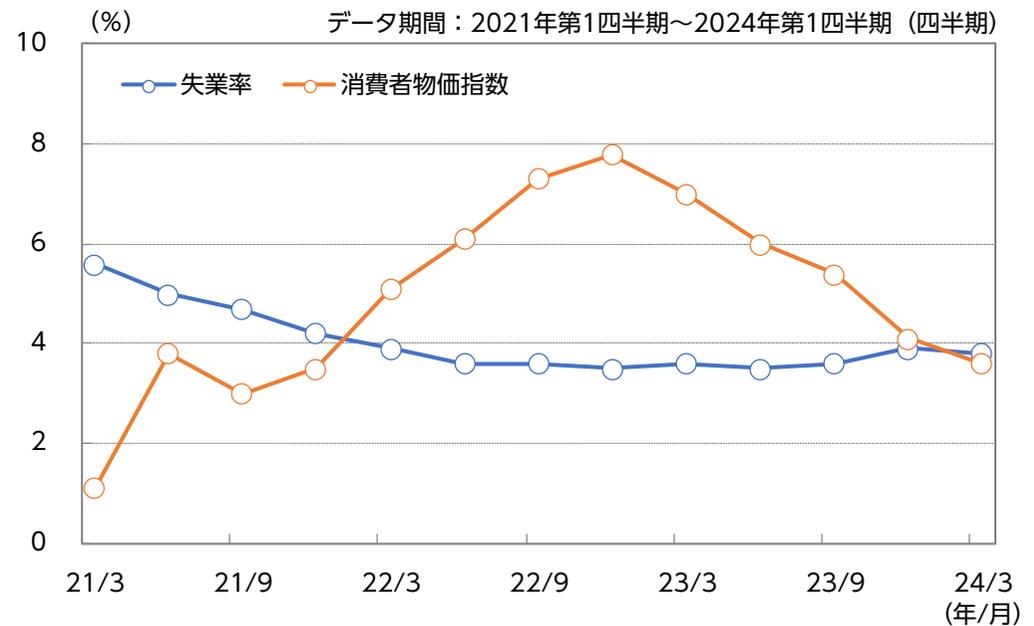


- オーストラリア準備銀行（RBA）は5月の定例理事会で政策金利の据え置きを決定。声明文では『最近のデータによると、インフレは緩和しつつあるものの、そのペースは以前の予想よりも遅く、依然として高水準にある。理事会は、インフレ率が持続的に目標範囲内に収まるにはまだ時間がかかると予想している。』と述べており、インフレや労働市場の見通しを注視していく姿勢を示しました。
- 豪消費者物価指数（CPI）の粘着性が懸念されるなか、引き続きRBAは物価や雇用関連の経済指標を確認しながら今後の金融政策を決定していくものと予想。

【実質GDP成長率（前年同期比）の推移】



【失業率と消費者物価指数（前年同期比）の推移】

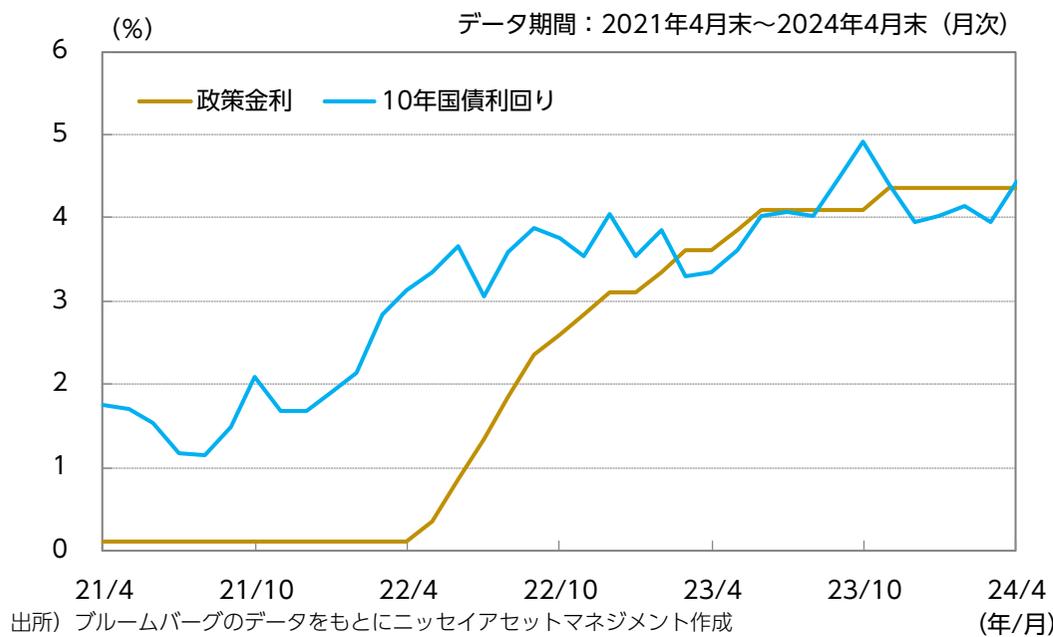


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

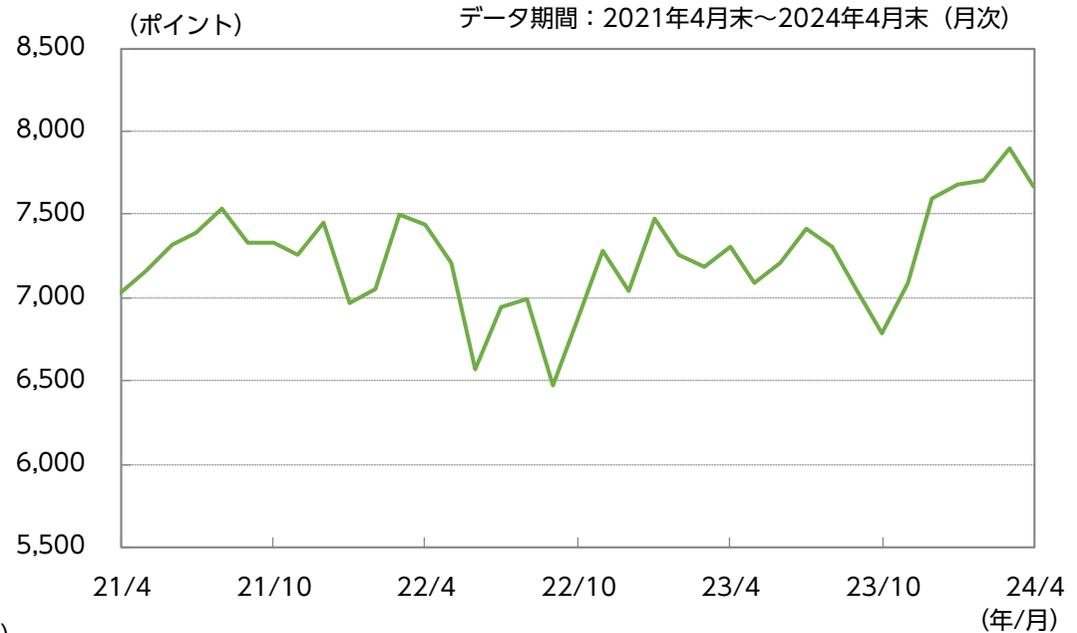


- 4月の豪州株式市場は、米国の3月CPIや雇用統計の結果により米国の早期利下げ観測が後退したことや中東情勢が緊迫化したことで、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。個人消費を主力に豪経済は堅調な推移が続くも、豪州株式は当面、RBA（豪州準備銀行）による金融政策の方向性を睨みながら慎重な値動きが予想されます。
- RBAは5月の定例理事会で、政策金利の据え置きを決定。声明文では『最近のデータによると、インフレは緩和しつつあるものの、そのペースは以前の予想よりも遅く、依然として高水準にある。理事会は、インフレ率が持続的に目標範囲内に収まるにはまだ時間がかかると予想している』と述べており、豪長期金利はRBAの金融政策の方向性に左右される展開が続くものと予想。

【政策金利と10年国債利回りの推移】



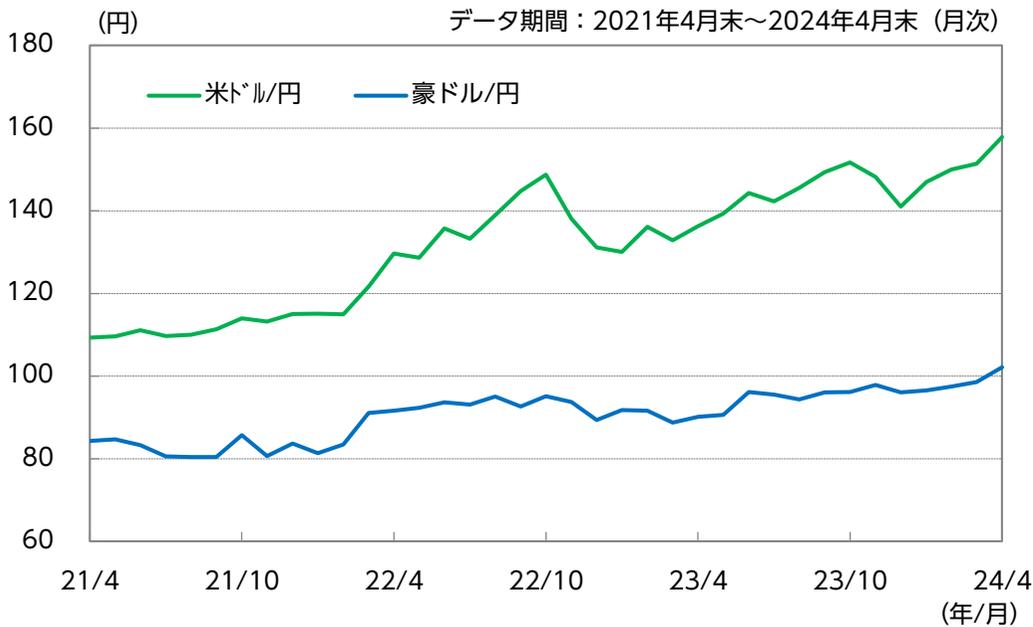
【S&P/ASX200指数の推移】



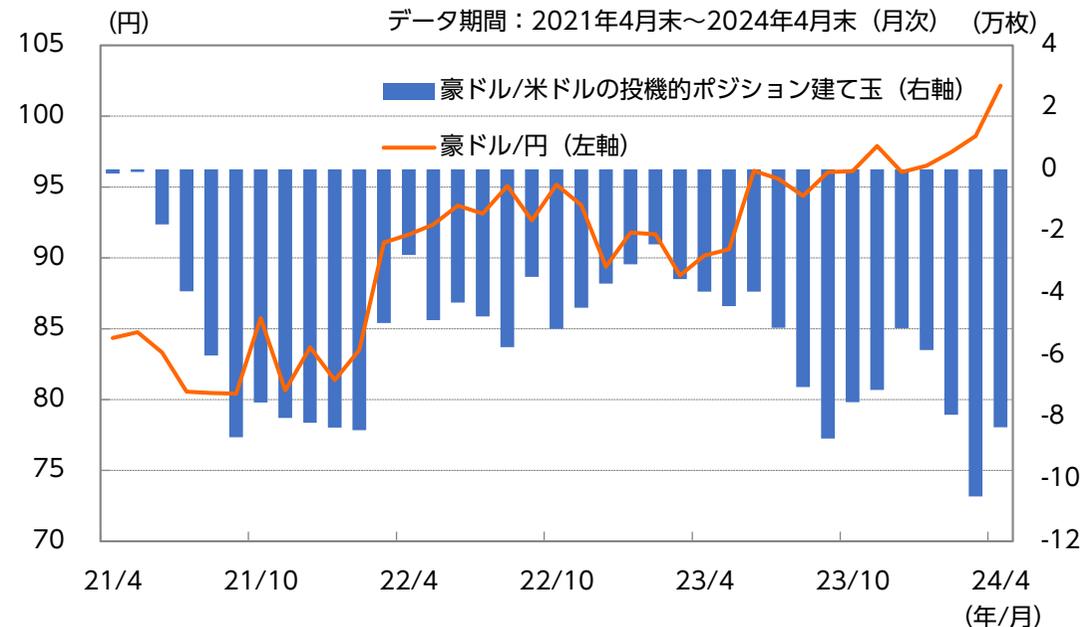


- 3月の豪消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回り、豪州準備銀行（RBA）による年内の利下げ観測が後退したことなどから日豪の金利差拡大が意識され、4月の豪ドルは対円で上昇しました。
- 豪州準備銀行(RBA) は5月の定例理事会で、政策金利の据え置きを決定。当面は、RBAの金融政策、および欧米主要国の金融政策の方向性を睨みながら、一方向に動きにくい展開が続くものと予想します。

【米ドル/円と豪ドル/円の推移】



【豪ドル/円と対米ドル投機的ポジションの推移】



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

**ご留意いただきたい事項** ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。